

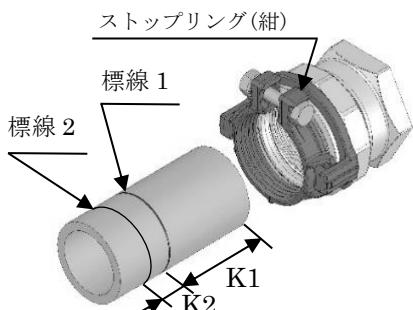
SKX-V50 (キャップ当て締めタイプ)

SKX® 施工手順 (塩ビ管用)

①パイプ挿入量記入

パイプ挿入量 (K 寸) を測り、**標線を 2 本**記入して下さい。

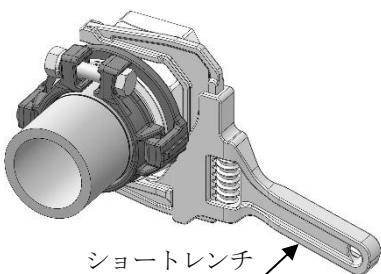
分解せずにストップリングとキャップが接した状態で標線 1 まで挿し込んで下さい。



- 注1) ・パイプ切断のカエリは取り除いて下さい。
- ・滑剤の塗布は不要です。
- ・管止めがある場合は、管止めから 3mm 以上あけて施工して下さい。

②キャップ本締め

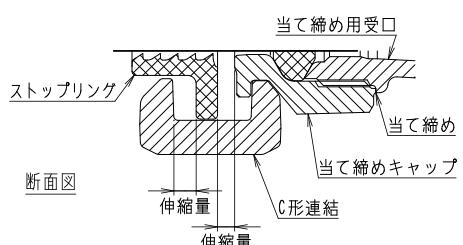
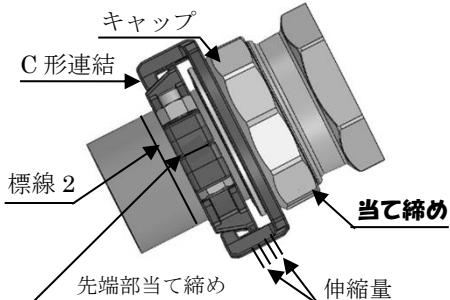
キャップを手締めしてパイプを固定した後、ショートレンチで**キャップを当て締めして下さい。**



③ストップリング本締め

C形連結を管中心方向に押えながら、ストップリングを締めやすい位置にして下さい。

ストップリングが 2 本の標線の間かつ両端伸縮量を保った状態で、ストップリング先端部を当て締めして下さい。



注 2)ストップリングは当締め後さらに締め付けすぎると
破損などの不具合が生じることがあります。

注 3)管とストップリングが直角になるように締め付けて下さい。

注 4)再施工時は「施工ハンドブック」を参照して下さい。

④接合完了

ストップリング端面が**2 本の標線の間**にあることを確認してください。

キャップとストップリングの締め忘れを確認して下さい。

《管の取り外し》

- ・ストップリング締付ボルト・ナットとキャップを緩めるだけで管と**分離可能(分解不要)**です。

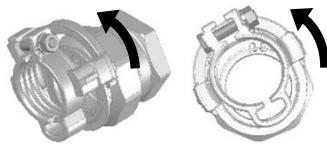
管呼び径	SR 呼び径 (紺)	本体・キャップ 呼び径	K (mm)		キャップ 〔参考締付トルク〕 N·m		ストップリング 〔参考締付トルク〕 N·m		六角 対辺	
			K1	K2						
50	V50	50	75	+10 -0	5	当締め	(40)	当締め	(25)	17

注) パイプエンドの場合、K 寸 (K1) は +5/-0 です。

SKXストップリング（SR）交換手順

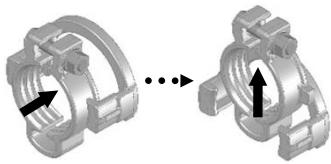
①C形連結取り外し

C形連結の一方を支点とし、他方をプライヤー等で回し、取り外して下さい。



②ストップリング取り外し

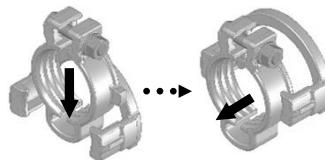
SRとC形連結を合わせ、SRを上方方向に抜いて下さい。



③ストップリング交換

適用管用SRとC形連結を合わせ、SRを下方向に入れ、C形連結から離して下さい。

※下図のように、ボルト・ナットを上にして、向きが逆にならないように注意して下さい。



④C形連結取付

C形連結をキャップの外溝に合わせて、C形連結上部を木槌等で軽く叩いて入れます。

